

大牟田市総合計画審議会(第2回)会議摘録

◆ 日 時 平成31年2月21日(水) 18:00~20:00

◆ 場 所 大牟田市役所北別館第1会議室

◆ 委員出席状況 出席19人、
欠席1人

◆ 議 事

1 まちづくり総合プラン(案) 諮問

・甲斐副市長(市長代理)より会長へ諮問書を読み上げ交付。

2 議事

(1) 総合計画まちづくり総合プランの構成と今後の議論展開のイメージ

- ・事務局より全体の構成と今後の議論の流れについて説明
- ・事務局より会議で発言できなかった意見の集約方法について説明

質疑・意見等特になし。

(2) まちづくり総合プラン(案) について

・事務局よりプラン(案)を説明

- ①計画策定の意義
- ②計画の位置付け及び期間

委員 総合計画の「〇次」は、数字で書いてあるものと漢数字で書いてあるものがあるが、その違いは何か?

事務局 「第一次総合計画」は固有名詞として漢数字表記をしているが「5次」は5回目という意味で数字表記をしている。

委員 今後の計画期間はずっと4年間で行うのか。

事務局 1次から4次までは10年間で策定してきた。
第5次からは時代の変化を反映できるよう4年間とした。

委員 (資料2の4段落目)
平成23年以降は自治体に委ねられたとあるが、総合計画策定をしていない自治体があるのか。

事務局 大牟田市は平成23年以降も総合計画の策定を行っている。
他の自治体の策定状況は正確には把握していないが、おそらくどの自治体も策定し続けていると思う。

③大牟田市総合計画 2016～2019 のふり返り

・頭書き～第3編

- 委員 (資料 4P 1)
「若い世代が地域を元気にする取組み」や「シティプロモーション活動」とは具体的にどのような活動なのか。
- 事務局 若い経営者の創業支援やD I Yなどによる空き店舗の解消、地域おこし協力隊によるコスプレイベントの企画・実施等を行っている。また、シティプロモーションでは高校生の有志による情報発信事業等を行っている。
- 委員 (資料 4P 1)
「この計画の計画期間における取組み」は「全体として概ね順調に進んでいます」という記載は、第5次計画の中でも同じ文言が使われているが、「概ね順調」とした根拠を教えてください。
- 事務局 各施策の成果指標の達成率の平均は 88.9%となっており、この数字をもとに「概ね順調」と記載している。

「ふり返り」部分では大きな視点で振り返りをしているが、後半部分の「現況と課題」では細かく課題等をみながらご議論いただきたい。
- 委員 (意見)
改善していく意志を示すためにも、重点的課題をここに乘せたほうがはっきりするのではないか。
- 委員 (意見)
「はぐぐみ」の部分について、「文化芸術に触れる機会」という記載があるが、若い人たちが主体的に取り組んでいるもの(高校生によるプロモーションビデオの制作やダンスチャレンジ等のイベント)もあるので、そのように記載したほうが良いのではないか。
- 委員 高等教育について、高専の卒業生の9割は市外に出ていくが、今後のまちづくりを担う人材育成と解釈していいのか。
- 事務局 行政評価シート I-39 に記載のとおり、市が行っている事業に多くの方々に参加し、また多くの連携事業を行っている。大牟田市でまちづくりを体験した若者が本市に残るようにすることは今後の課題であるが、大牟田で学んだことを他自治体で活かしたり、市外在住でも大牟田に関する情報発信等をやっていたりしているのので、このように記載している。ここでは大牟田市在住者のみを指しているわけではない。
- 委員 中心市街地活性化事業の現状について、情報共有をお願いしたい。
- 事務局 今朝の地元紙に掲載のとおり、特定建設業務代行者が撤退を決めたところ。しかし、再開発事業を中止するわけではなく、また準備組合も継続

意向を持っているため、再度プランを作り直し、もう一度事業に取り組みたいというのが現状である。

・第4編～計画の実現に向けて

- 委員 (意見)
計画の中にテクノロジーの恩恵を盛り込んでいただきたい。地域交通はコミュニティバスのような人とのつながりも大事だが、自動運転等の実証実験の積極的な誘致をお願いしたい。
- 委員
上水道について、取水口周辺の危険物の有無はチェックされているのか。
水道の原水取水口上流における産業廃棄物処分場や養豚場などの施設についてどのようなチェックが行われているか
- 事務局
水源地の調査については次回回答とさせていただきたい。
- 委員 (意見)
菊池川の取水口の50m上流に九州最大といわれる産廃がある。
また、筑後川の上流の長者原に養豚場をつくる計画があることがJAからあがっている。これらの状況についても把握いただきたい。

④本市を取り巻く社会背景と課題

(1) 人口減少・少子高齢化と地方創生

- 委員
合計特殊出生率は国・県よりも高いということだが、同規模の自治体と比較した場合はどうか。(例：飯塚市・那珂川市等)
- 事務局
合計特殊出生率は東京などの大都市ほど低い傾向がある。同規模自治体の出生率は次回回答とさせていただきたい。

(2) 持続可能な社会の実現

- 委員
SDGsについて、環境への配慮は企業が取り組むものといわれているが、何か企業への働きかけを行うのか。
- 事務局
現段階では、具体的な企業への働きかけや支援策はない。しかしながら、ESDの中では、既に企業や地域の方々と一緒に取り組んでいるものもある。今後もステークホルダーと一緒に取り組んでいきたいと考えている。

(3) 地域経済と技術革新・グローバル化

質疑・ご意見等特になし。

(4) 地域共生社会の実現や安心安全のまちづくり

質疑・ご意見等特になし

(5) 人口減少時代に求められる行財政運営

委員

(意見)

30以上の自治体がRPA等の実証実験を行っている。大牟田も単純な事務処理等はテクノロジーを活用し、その恩恵を受けるよう積極的に取り込んでいただきたい。

3 その他

・次回：3月25日（月）18時より同じ場所で開催

以上（20：00）終了